

日本医学教育学会の創立50周年に際して

日本歯科医学教育学会
理事長 関本 恒夫

日本医学教育学会が創立50周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。私どもの日本歯科医学教育学会は貴学会に13年遅れ、1982年に創立されました。創立以降、常に貴学会を目標としその後を歩いてまいりました。現在においては貴学会に所属する歯科医師も多く、毎年多くの歯科医師が貴学会の学術大会に参加しております。私どもの委員会活動におきましても、学会の国際化やプロフェッショナリズム、卒前教育、卒後教育、各種表彰など多岐にわたる活動しております。最近では医学系職種との多職種連携教育の構築を目指した活動を進めています。特に歯科医学教育学会におきましても教育能力開発委員会を中心に、貴学会と同様の「歯科医学教育者のためのワークショップ（通称：富士研）」を開催しておりますが、今年度も貴学会富士研に続いて私どもの富士研を開催し、鹿児島大学の田川まさみ先生にご協力いただきアウトカム基盤型教育について研修を行いました。歯科における富士研でタスクを担っているのは、貴学会の富士研に歯科医学教育学会から毎年1名ずつ派遣させていただいてきた会員です。私自身も平成22年に貴学会の富士研に参加させていただき、その当時はまだ目新しかったTBL、シミュレーション教育、ワールドカフェなど多くの教育手法を学び私どもの富士研実行委員会にフィードバックしてまいりました。特に日野原重明先生のご講演「新しい医学教育の展開を求めて」には大変感銘を受け、講演の中で当時すでに多職種連携教育に関してお話しされたことは、現在の歯学教育学会の活動にも大きな影響を与えております。さらに、ミニバーで日野原重明先生と直接お話ができたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。今後も日本医学教育学会のご指導を賜りながら歯科医学教育の発展に尽くしてまいりたいと存じます。

今後の日本医学教育学会の益々のご発展をお祈りいたします。最後に私の一生の宝となった一枚の写真を掲載させていただきます。



日野原重明先生（左）と筆者